

1 単元名 地方の政治と自治

2 単元の目標

社会的事象への関心・意欲・態度	地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとする。
社会的な思考・判断・表現	住民自治を基本とした、地方公共団体の政治に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
資料活用の技能	地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。
社会的事象についての知識・理解	地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組みについて理解し、その知識を身に付けることができる。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領公民的分野の内容(3)イ「民主政治と政治参加」を受けて設定したものである。この中項目の中では、地方自治と我が国の民主政治について学習し、地方自治については、「地方自治の基本的な考え方について理解させる」ことを目標としている。また、「地方公共団体の政治のしくみについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民として自治意識を育てる」ことが求められている。

中学校学習指導要領解説社会編によると、「地方自治の基本的な考え方」とは、「地域社会における住民の福祉は住民の自発的努力によって実現するものであり、住民参加による住民自治に基づくもの」であり、これが「地方公共団体の政治の仕組みや働きを貫いている基本的な考え方」である。そのことを理解させるために、「身近な地方公共団体の政治について取り上げるとともに、住民の権利や義務に関連させて扱うことにより、地域社会への関心を高め、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる」としている。

本単元では、身近な地方公共団体である行方市を教材として取り上げる。行方市は霞ヶ浦と北浦に挟まれた台地で、農業が盛んな地域である。人口は約4万人だが、過疎化が進んでおり、農作物のブランド化や6次産業化、地域のイベント開催などの町おこし・村おこしに取り組んでいる。

(2) 生徒の実態 (男子*人 女子*人 計*人)

アンケート実施日 平成*年*月*日

○行方市の行っている「町おこし・村おこし」の取組で知っているものを書きなさい。(複数回答可)

- ・なめりーミコット (*人) ・行方バーガー (*人) ・みずまるくん (*人) ・地域の祭り (*人)
- ・市民運動会 ・行方市産の野菜 ・地産地消 ・ニコちゃんとなめぞう ・農業体験
- ・講演会 ・海外派遣研修 ・公園づくり ・わからない (*人)

○将来、行方市をよりよくするための取組に参加したいと思いますか。

はい…… *人 いいえ…… *人 どちらとも言えない…… *人

「はい」の理由

- ・行方市を少しでも多くの人に知ってもらいたい ・行方市をきれいにしたい
- ・少子高齢化が進んでいるので、少しでも抑えたい ・自分たちの住む地域をよくしたい
- ・地域のためにできることがあれば参加したい

「いいえ」の理由

- ・興味がない ・効果がなさそう

「どちらとも言えない」の理由

- ・取り組めることがあれば参加したい ・行方市は今のままだでもいい ・好きでも嫌いでもないから
- ・よりよくするための取組を知らない ・将来、この地域にいないかもしれない
- ・参加したいが、若者があまりいないから参加しにくい ・参加したい気持ちはある

アンケートより、中学2年生の地理的分野の学習で過疎化について学習したり、身近な地域の調査で行方市について学習したりしていたので、行方市が町おこし・村おこしに取り組んでいることを理解しており、ご当地キャラクターが浸透していることが分かる。しかし、そのほかの取組についてはよく知らない

ようである。学級の約*%の生徒が地域のために貢献しようとする意欲をもっており、「どちらとも言えない」と回答した生徒の中にも地域に関わろうとする意欲のある生徒が多数いた。

(3) 指導観

生徒の実態より、地域が町おこし・村おこしに取り組んでいることをある程度知っており、自分が地域の活性化に積極的に関わろうとする意欲をもつ生徒もいるが、地域をよくしたいと思っていてもどのように関わればいいのか分からないために消極的になっている生徒もいる。そこで、地域をよりよくするアイデアを考える活動を通して、地方自治についての基本的な理解を促し、地域社会への関心を高め、地域の発展に寄与しようとする心情を育てていきたい。

単元を通して、小学校の跡地をどのように利用するのかを考える活動を設定することにより、地方自治についての基本的な考え方を理解させたい。過疎化が進む行方市について、自分たちの町おこし・村おこしの計画を立てる活動を行うことで地方自治に自発的に参加する態度を育てたい。また、計画を立てる過程では、地方公共団体に対してどのように請願・陳情すればいいのか、請願・陳情が通った場合の財源をどのように確保すればいいのかについて調べさせることで、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させたい。生徒にとって身近な題材を、単元を貫く課題として教材化して取り組むことで、生徒の興味・関心を持続させながら学習を進めることができると考える。

4 県学校教育指導方針の「努力事項」との関連

本単元の、身近な地域の課題について考えるという単元を貫く課題を通して地方の政治と自治について学習する活動は、県学校教育指導方針の「努力事項」である「3年間を見通した指導計画の改善」の「主体的に課題を解決する能力を培う指導計画の改善」と関連している。

5 指導計画（5時間扱い）

	時間	学習活動・内容	評価規準	評価計画			
				関	思	技	知
第1次	1 (本時)	行方市内の小学校跡地の利用計画を考える。	行方市北浦地区の小学校跡地を町おこしのために利用する計画の作成に意欲的に取り組もうとしている。	○			
第2次	1	自分たちの計画を行方市に採用してもらうにはどのような方法があるのか考える。	計画を行方市に採用してもらう方法を調べることを通して、地方自治に参加する方法は首長や地方議員になるだけでなく、請願・陳情、直接請求などの方法があることを理解することができる。				○
第3次	1	計画を実現するためのお金をどのように集めるのか考える。	計画実現のため、費用捻出について考える行動を通して、地方公共団体の財政が国の援助を受けながらどのようなことに支出されているのかを理解することができる。				○
第4次	2	行方市内の小学校跡地の「実現可能な利用計画」を立てる。	行方市北浦地区の小学校跡地の利用計画について、実現するまでの工程を考えて発表することができる。		○		
			小学校跡地の利用計画について有用な情報を適切に選択し、発表しやすいようにまとめることができる。			○	

6 本時の学習

(1) ねらい

行方市北浦地区の小学校跡地を町おこしのために利用する計画の作成を通して、地域の課題に意欲的に取り組もうとする。

(2) 本時にかかわる言語活動について

行方市北浦地区の小学校跡地の利用計画について、グループでブレインストーミング的な活動を行い、様々なアイデアを出し合う活動を通して、課題に意欲的に取り組めるようにする。

(3) 準備・資料

写真資料，プリント資料，ワークシート，ホワイトボード

(4) 展開

学習内容と生徒の学びの流れ	指導上の留意点と評価
<p>1 行方市北浦地区の小学校跡地の利用計画について知る。</p> <p>2 行方市の他の小学校跡地の利用や他地域の取組について知る。</p> <p>3 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 小学校跡地の利用計画を考えて市に提案しよう。 </div></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の写真や行方市の小学校跡地利用計画を示し、生徒に本時の活動や自分たちの住む地域への関心をもたせる。 ・空き地になっている小学校跡地を紹介し、有効に活用できていない様子を伝え、自分たちが何とかしなくてはならないという意欲をもたせる。 ・「なめがたファーマーズビレッジ」や「潮来市立図書館」などの取組を紹介し、小学校の跡地には様々な可能性があることを知ることで、本時の活動に意欲をもてるようにする。 ・小学校跡地の利用について考えることを通して地方自治について学習することが、本単元を貫く課題であることを伝え、本時の学習活動とのかかわりや活動の流れを説明することで授業の見通しをもたせる。
<p>4 グループで自分が住んでいる小学校区の跡地利用の計画を作成する。</p> <p>(1) 一人一人がアイデアを付箋に書く。</p> <p>(2) 付箋をグループ用ワークシートに貼りながら意見を発表する。</p> <p>(3) 出てきた意見をもとにグループの意見を練り上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域の小学校跡地の利用計画を考えさせるため、小学校区ごとに3～4人のグループを作って話し合わせる。 ・行方市にとって必要なものは何なのかをブレインストーミング的な活動で意見を出し合い、グループで付箋を使いながら情報の共有化を図れるようにする。 ・付箋にアイデアをなかなか書けない生徒に対してグループの友達に聞いてみるように指示し、友達の意見に便乗してみるように促す。
<p>5 各グループの計画を発表する。 <予想される生徒の考え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンター ・図書館 ・スーパー銭湯 ・公民館 ・太陽光発電 ・プラネタリウム ・保育施設 ・肝試し施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校跡地の利用について考えることを通して地方自治について学習することが、本単元を貫く課題であることを伝え、本時の学習活動とのかかわりや活動の流れを説明することで授業の見通しをもたせる。 ・自分の住む地域の小学校跡地の利用計画を考えさせるため、小学校区ごとに3～4人のグループを作って話し合わせる。 ・行方市にとって必要なものは何なのかをブレインストーミング的な活動で意見を出し合い、グループで付箋を使いながら情報の共有化を図れるようにする。 ・付箋にアイデアをなかなか書けない生徒に対してグループの友達に聞いてみるように指示し、友達の意見に便乗してみるように促す。 ・発表時にホワイトボードを掲示することで視覚的に理解しやすいようにし、意見の共有を図るとともに、考えを深める手掛かりとする。
<p>6 本時の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだことを整理させるため、本時の活動で分かったことや難しかったこと、考えたことをワークシートに書かせる。
<p>7 次時の授業の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は、自分たちで考えた小学校跡地利用計画を実現させるために、行方市に対してどのような働きかけができるのかを学習することを伝え、次時の見通しをもたせる。

(5) 板書計画

<p>現在の行方市北浦地区の小学校の様子</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">小学校の写真①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">小学校の写真②</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">小学校の写真③</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;">小学校の写真④</div> </div>	<p>小学校跡地の利用計画を考えてみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活動の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋に自分の意見を書く ・グループ用ワークシートにまとめる ・グループの意見を発表する </div>	<p>各グループの計画</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ショッピングセンター</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">図書館</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">スーパー銭湯</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公民館</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">保育施設</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">太陽光発電</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">肝試し施設</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">プラネタリウム</td> </tr> </table>	ショッピングセンター	図書館	スーパー銭湯	公民館	保育施設	太陽光発電	肝試し施設	プラネタリウム
ショッピングセンター	図書館	スーパー銭湯	公民館							
保育施設	太陽光発電	肝試し施設	プラネタリウム							